

# いづき 議会だより

第111号

2021 令和3年4月23日

あまのつばき

## 3月定例会

### もくじ

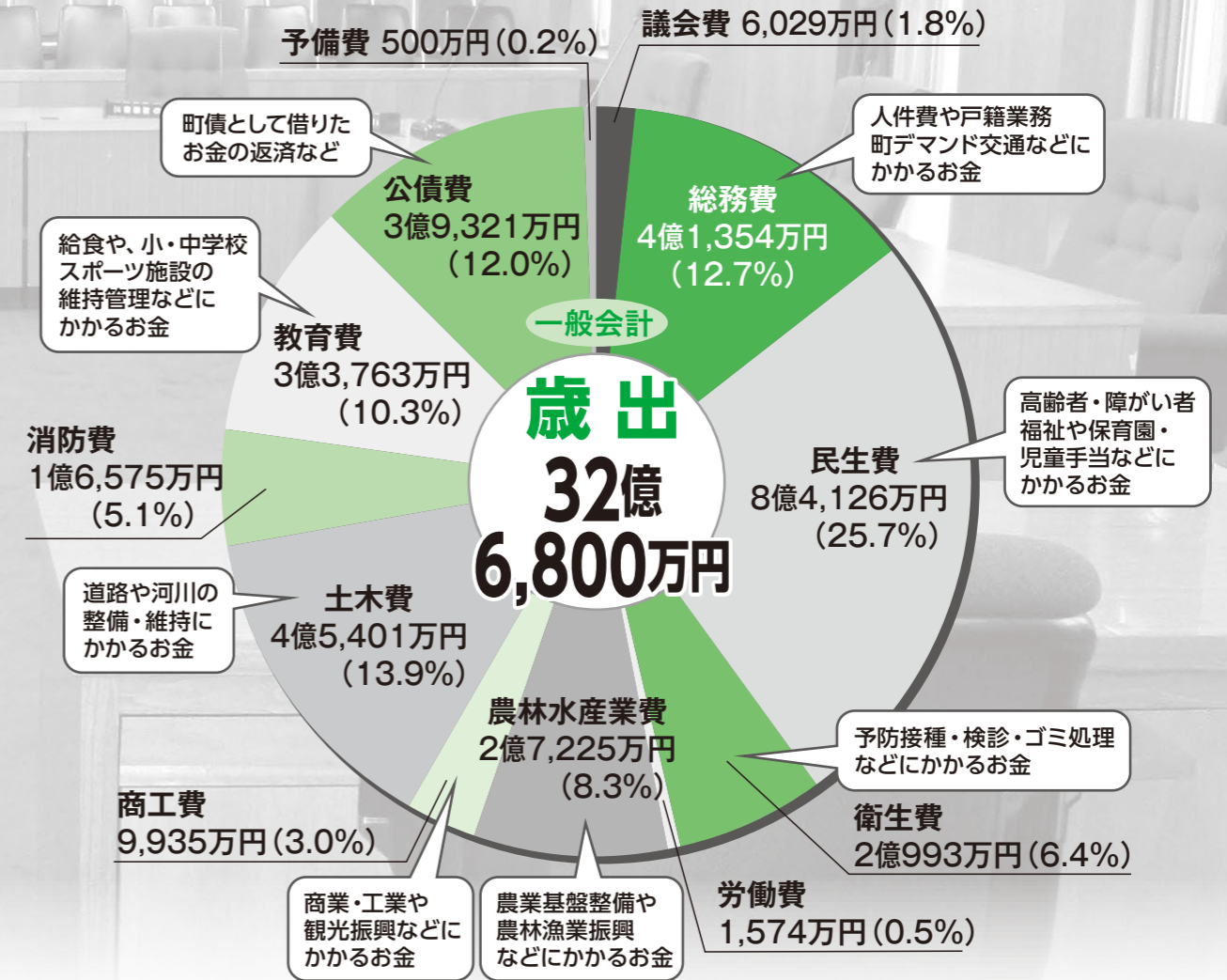
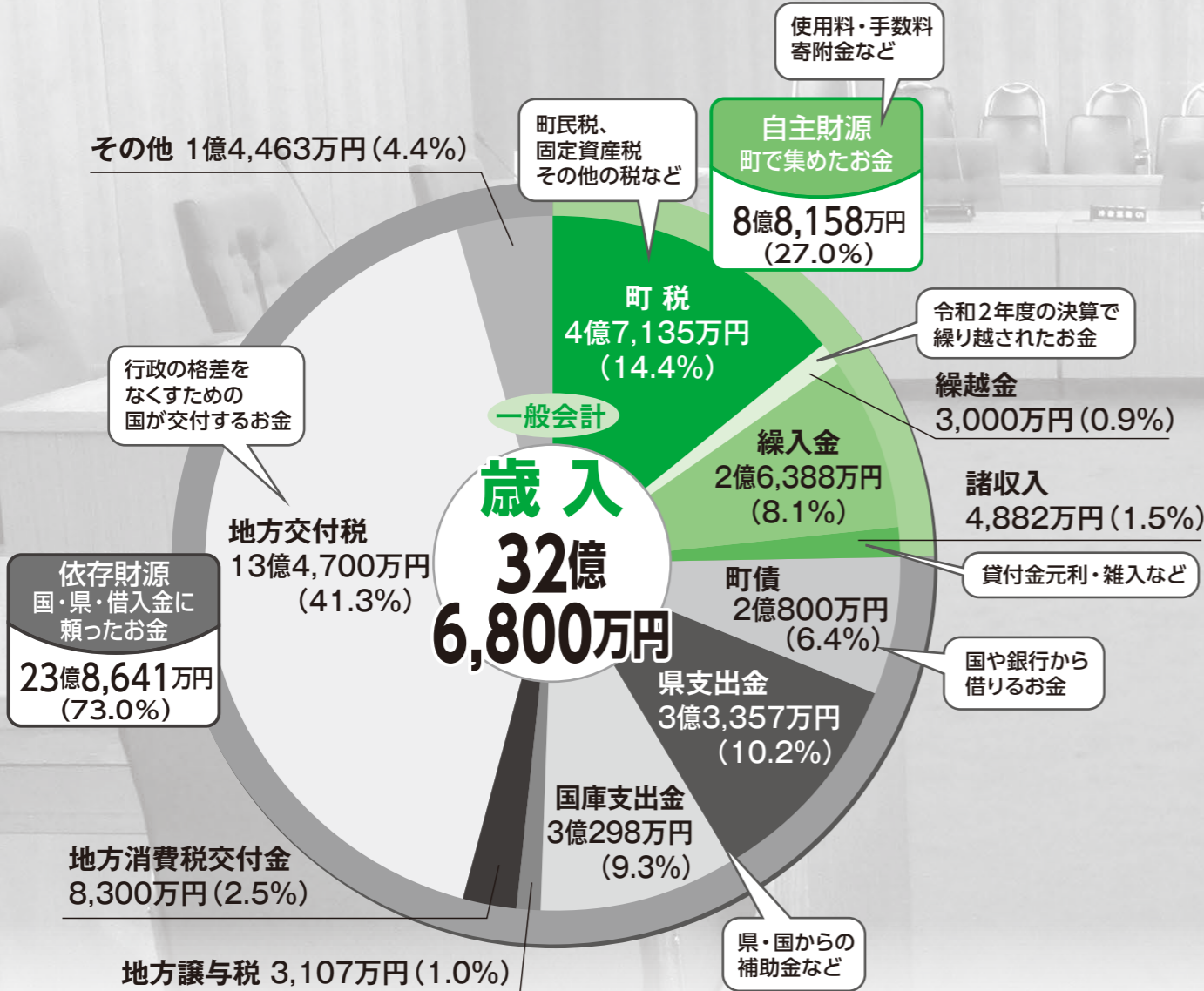
令和3年度当初予算	2
当初予算目玉事業	4
予算審査特別委員会	6
3月定例会	8
全員協議会	10
議会のうごき	11
一般質問(5人が町政をただす)	12
委員会視察	18
自治功労者表彰	19
みんなの声	20



出雲崎町議会  
ホームページ

# 「生きがいと夢を持てるまちづくりを目指して」

3月定例会(会期3月5日~12日(8日間))



※千円未満切り捨てのため、合計と一致しません。

令和3年度当初予算合計は **50億4,620万円**  
(前年度比▲0.3% 1,530万円減)

一般会計 **32億6,800万円** (前年度比 ▲1.3% 4,400万円減)

特別会計 **17億7,820万円** (前年度比 1.6% 2,870万円増)

## 特別会計

会計名	令和3年度	令和2年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	4億9,720万円	5億440万円	▲720万円	▲1.4%
介護保険事業	6億4,920万円	6億4,000万円	920万円	1.4%
後期高齢者医療	6,570万円	6,570万円	0	0
簡易水道事業	1億6,400万円	1億8,290万円	▲1,890万円	▲10.3%
特定地域生活排水処理事業	1,210万円	1,250万円	▲40万円	▲3.2%
農業集落排水事業	1億3,490万円	1億2,280万円	1,210万円	9.9%
下水道事業	2億4,360万円	1億9,940万円	4,420万円	22.2%
住宅用地造成事業	1,150万円	2,180万円	▲1,030万円	▲47.2%
合計	17億7,820万円	17億4,950万円	2,870万円	1.6%

(▲は減額)

# 『ウィズ・コロナ、ポスト・コロナを見据え、第6次出雲崎総合計画』を策定

## 感染症対策を最優先課題とし、迅速に必要な対応を進める

～町民の皆様が生きがいと夢を持てるまちづくりを目指して!～



当初予算目玉事業

当初予算目玉事業

### 安全で快適な美しい環境の町づくり事業

- 町デマンド交通運行費補助金 ..... 1,453万円  
地域公共交通として乗合タクシーの運行に対し補助
- 町道維持修繕工事（長寿命化事業） ..... 2,050万円  
海岸線、松本大門線の舗装修繕工事
- 道路新設改良舗装工事 ..... 9,780万円  
小木常楽寺線ほか4路線の道路改良舗装工事
- 町営住宅建替事業基本構想策定業務委託料 ..... 500万円  
町営住宅長寿命化計画を更新するとともに、大門町営住宅建替事業の基本構想策定業務の委託

### 活気・活力に満ちた産業の町づくり事業

- 特別栽培米買取支援事業補助金 ..... 61万円  
「出雲崎の輝き」生産農家の経営安定に必要な価格（2万円/俵）にJAの買取差額を補助
- 出雲崎ライスセンター荷受ライン増強事業補助金 ..... 290万円  
出雲崎ライスセンター荷受ラインの機能増強工事に対する補助
- 釜谷梅団地農道舗装工事 ..... 300万円  
釜谷梅団地前の農道を舗装整備し、釜谷梅組合の継続的な活動を支援
- 天領の里・石油記念館照明LED改修工事 ..... 393万円  
観光拠点施設の照明をLEDに改修し、来場者の利便性と省エネによる環境対策、維持管理費の軽減を図る

### 夢・感性あふれる教育と歴史文化香る町づくり事業

- 高校生通学費助成金 ..... 257万円  
高校生保護者の経済的軽減を図るため、通学定期券の購入に対し、3割を補助
- 奨学金変換支援事業助成金 ..... 140万円  
定住者の増加につなげるため、大学等を卒業後、町内に定住し、企業等に勤めた者の奨学金返還金を助成
- 良寛記念館応援倶楽部てまりの会補助金 ..... 152万円  
良寛記念館の活性化を図るため、「良寛記念館てまりの会」の事業運営費に対し補助

### 町民と協働で築く町づくり事業

- 町移住定住支援金 ..... 270万円  
町のおためし移住を体験し、移住してきた方及び、移住者を受け入れた集落に対し支援金を支給
- 地域づくり推進事業補助金 ..... 120万円  
地域づくり活動を進める集落や団体に対し補助

### 施政方針

### 4つの最重点施策(要旨)

- 1 新型コロナウイルス感染症対応**
  - ・ ワクチン接種に伴う経費・体制整備
  - ・ ふれあいの里での集団接種と町内2カ所の診療所での個別接種を進める
- 2 若い世代の希望をかなえる町づくり**
  - ・ 若者の地域定住、U・Iターンを促進するための子育て・仕事・住宅等の支援
  - ・ 移住者及び移住者を受け入れる集落に支援金の支給
  - ・ 0歳から5歳児の保育利用料の無償化及び0歳から18歳までの医療費の無料化
- 3 様々な人が関わり、訪れ、交流する町づくり**
  - ・ 多世代交流、情報発信等を通して交流人口、関係人口の増加を図る
  - ・ 地域おこし協力隊制度を活用し、情報発信や地域を活性化する取り組みを進める
  - ・ 特産品等の充実を図り、企業版ふるさと納税を活用し、総合戦略事業の促進を図る
- 4 地域の資源を活かした魅力ある町づくり**
  - ・ 地域資源を活かし、歴史、文化、魚・米等の特産品を磨き上げる
  - ・ 出雲崎産ブランド米「出雲崎の輝き」の生産拡大を支援し、PRを進める
  - ・ 「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」を発足し、会の運営を支援する

施政方針・・・政治を行うときの目的・方向・理念など。

### 健康で安心して暮らせる福祉の町づくり事業

- 障害福祉サービス費 ..... 1億8,758万円  
障害者総合支援法に基づき、障害者(児)に対して介護給付や訓練等給付
- 町難聴者補聴器購入費助成 ..... 50万円  
18歳以上方で、医師から補聴器の装用が必要と判断された方の購入費に対する補助
- 救命医療情報キット ..... 50万円  
高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯に対し、緊急時の情報確認に利用するためのキットを配布
- 子どもの医療費助成 ..... 1,047万円  
0歳から18歳までの子どもの医療費を助成
- 町支え合い体制推進事業補助金 ..... 44万円  
一人暮らしの高齢者や障害者などで生活上困っていることに対し、有償ボランティアとしてサービスを提供する「出雲崎たすけ愛隊」の事業費の補助

ここが聞きたい!!



中野 勝正 委員長

3月定例会

# 予算審査特別委員会

令和3年度一般会計・特別会計(9)は予算審査特別委員会に付託され、審議の結果、全会一致で可決しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

予算審査特別委員会

## 一般会計

### 地域・暮らしの関係

#### 役場表駐車場

##### 修繕工事

140万円

小黒議員 駐車スペースが狭いと感じるので、区画線の間隔を開けて広くできないか。

総務課長 意見を踏まえて修繕工事を進める。

新潟日報「未来のチカラ」プロジェクト負担金  
60万円

高桑議員 越後線フォトコンテスト以外にどのような計画があるか。

総務課長 新潟日報独自の企画で、新潟県をエリアごとに分け、そのうち柏崎・刈羽・出雲崎をアピールするものである。地域活性化や小中学生対象のシンポジウム等が企画されている。

#### 町移住定住支援金

270万円

中川・加藤議員 事業内容について。

総務課長 移住してきた方(40歳以下、または中学生以下を扶養する世帯)およびお試し移住体験に協力し、移住者を受け入れた集落に対して支援金を支給する。

#### チャイルドシート

32.8万円

小黒議員 何台購入予定か。

総務課長 現在68台あり、55台無料で貸し出している。今回は10台入れ替える。

#### ふるさと納税寄附謝礼

690万円

三輪・高橋議員 町の考え方について。

総務課長 3年度は、2300万円、企業版ふるさと納税で150万円の寄附目標である。返礼品は30%以内で考えている。

#### 地域おこし協力隊活動費の報酬

964.7万円

中川・加藤・三輪議員 内容について。

総務課長 現在2名であるが、1名退職されるので、新しく3名採用し、合計4名である。

#### 町デマンド交通運行費補助金

1,453.4万円

三輪・中川・諸橋・小黒議員 月平均どれくらいの利用者があり、年間何人の方が利用されたか。また、ライナー便は、どうだったか。

総務課長 月平均182人で、年間では約2千人の利用であった。ライナー便は5名である。



デマンド交通の車両

#### ドローン操作講習委託料

18.2万円

中川議員 現在何名の方が資格を持っているか。

総務課長 役場の職員1名と地域おこし協力隊1名の合計2名である。協力隊の方が退職されるので、新たに協力隊1名から資格取得をお願いする。



### 保健・福祉関係

#### 救命医療キット

50.9万円

小黒・高桑・中川・高橋議員 配置方法等、高齢者への配慮はあるか。

保健福祉課長 民生委員の方から協力いただきながら、適正に配置を進めたい。

### 町難聴者補聴器

購入費助成

50万円

加藤議員 金額の上限を上げることはできないか。

保健福祉課長 県内の自治体と比較しても高く設定してある。他の自治体が上げた場合には、検討する。

### 衛生・労働費関係

### 斎場事務委託料

268.5万円

高橋議員 新斎場の建設はどのような状況か。

町民課長 令和10年の供用開始予定で進めている。

### 資源ごみ処理委託料

498.6万円

三輪議員 当町のプラスチックゴミの回収は、月2回であるが、長岡市は、毎週である。当町も毎週に検討できないか。

町民課長 プラスチックゴミが多いのは、承知している。検討してみる。

### 出雲崎・小木ノ城駅 トイレ管理委託料

15.6万円

三輪・小黒議員 小木ノ城駅は、未だに汲み取り式である。JRと協議して改善できないか。

町民課長 協議をお願いしてみる。

### 農林商工関係

### 特別栽培米 買取支援事業補助金

61.2万円

中川議員 町として力を入れている中で、さらに生産者から頑張ってもらうために、補助金の増額はできないか。

産業観光課長 農協が生産者から買い取るとき、2万円にな



特別栽培米

るように差額を補助金として支払う。今後の状況を踏まえて検討する。

### 宿泊施設環境整備 促進事業費補助金

50万円

高橋議員 2年度は補助金200万円、3年度は50万円であるが、減額の内容は何か。

産業観光課長 2年度は4件分計上したが、申請はなかった。3年度は1件分の予算である。

### 町駐車場使用料

6.8万円

小黒議員 どの場所の使用料か。

総務課長 井鼻第3駐車場及び心月輪に設置してある自動販売機の設置使用料。

### 土木・消防費関係

### 大門町営住宅建替工事業 基本構想策定業務 委託料

500万円

高桑議員 住んでいる方がいる中で、どのような構想でいるか。

建設課長 どのような方法で更新するかを含めて検討する。委託料は、500万円のうち国が1/2、町が1/2である。

### 放射線防護対策施設 災害時非常用物資

145万円

三輪・中川・小黒議員 非常用物資の交換の内容と再利用について。

総務課長 184人分を3日間備蓄する。物資については、防災訓練の時に使い廃棄はしない。

### 教育費関係

### 良寛記念館 耐雪庵屋根修繕工事

471.9万円

中川・高橋・三輪議員 どのような事をやるのか。

教育課長 経費もかかるので、屋根だけ修繕する。

### 特別会計

### 介護保険支え合い体制 推進事業

44.7万円

高桑・三輪議員 良い事業だが、現NPOと被らないか。

保健福祉課長 助け合いの中で、気軽にボランティアをしてもらう。軽微なゴミ出しや話し相手などを考えている。

### 水道配管布設整備費 管路工事費

4,150万円

加藤議員 尼瀬地区の浜側の道路が陥没しているが、工事はやるのか。

建設課長 管路工事は、計画的に工事を進める。3年度は、常楽寺・川西地区を計画している。

### 下水道処理区 統合管路工事

2,700万円

諸橋議員 内容について。

建設課長 松本地区を廃止、出雲崎地区に統合し、年間400万円の減を見込んでいる。

# 3月定例会

議案41件を全会一致で可決

会期 3月5日～12日（8日間）

## 3月定例会で決定した補正予算

（▲は減額）

会 計		補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第12号)		4,309万円	42億4,987万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第4号)	▲ 753万円	5億3,817万円
	介護保険事業 (第3号)	▲ 104万円	6億7,477万円
	簡易水道事業 (第1号)	▲ 1,702万円	1億6,587万円
	特定地域排水事業 (第1号)	▲ 90万円	1,160万円
	農業集落排水事業 (第2号)	▲ 282万円	1億4,397万円
	下水道事業 (第1号)	▲ 1,040万円	1億8,900万円
	住宅用地造成事業 (第1号)	728万円	2,908万円

### 一般会計補正予算 (第12号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方交付税特別分追加 …………… 3,500万円</li> <li>良寛記念館入館料減 …………… ▲250万円</li> <li>新型コロナウイルスワクチン感染症対応 地方創生臨時交付金追加 …………… 4,295万円</li> <li>地籍調査事業負担金追加 …………… 1,947万円</li> <li>ふるさと納税寄附金追加 …………… 350万円</li> <li>住宅用地造成事業特別会計 繰入金 …………… 728万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共用施設維持補修基金積立 …………… 8,624万円</li> <li>新型コロナウイルスワクチン接種 予約システム業務委託料 …………… 88万円</li> <li>出雲崎まるごとオーナー実行委員会 負担金減 …………… ▲60万円</li> <li>地籍調査業務委託料追加 …………… 2,758万円</li> <li>町漁業者支援事業補助金追加 …………… 455万円</li> <li>道路新設改良舗装工事減 …………… ▲700万円</li> </ul>

### 陳 情 (審査結果／不採択)

陳情第1号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択に関する陳情

### 町の条例を改正する条例制定について (議案12号～21号から主なもの)

議案第13号 ■ 出雲崎町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について  
誓約書の押印を廃止するもの

議案第16号 ■ 出雲崎町児童遊園設置条例の一部を改正する条例制定について  
羽黒町児童遊園の廃止

### 指定管理者の指定について

施設の名称	指定管理者	指定期間
出雲崎町保健福祉センター(ふれあいの里)	社会福祉法人 出雲崎町社会福祉協議会	令和3年4月1日から令和9年3月31日まで
出雲崎町デイサービスセンター	社会福祉法人 中越老人福祉協会	令和3年4月1日から令和9年3月31日まで
北国街道妻入り会館	妻入りの会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

人 事

副町長の選任に同意 山田正志氏 (川西) (令和3年4月1日から4年間)

案 件

教育委員会教育長の任命に同意 曾根乗知氏 (米田) (令和3年4月2日から3年間)

監査委員の選任に同意 関川嘉夫氏 (駅前) (令和3年4月1日から4年間)

ここが聞きたい!!

3月5日

# 補正予算質疑

主なもののうちから抜粋して掲載しています

## ふるさと逸品開発 事業補助金追加

170.4万円

**高桑議員** どのような事業が追加となったか。

**産業観光課長** モビールの製造(越後工業)・紙風船の絵本の作成(磯野紙風船)・ジュエリートアイスの製造(良寛)・魚加工品の開発(仙海)などが追加となった。

## 小中学校加湿器購入

118.2万円

**中川議員** 加湿器は小中学校とも、既に利用しているはずだが、どういった理由での購入か。メンテナンスはどうか。

**教育課長** コロナ対策として加湿器は有効であるが、現行のものは教室の広さに見合っており、追加する。購入するものは清掃が容易との事だが、カビ等の発生を防ぐためしっかりと行う。

## インフルエンザ予防接種 費用臨時助成金減 妊婦乳幼児健康診査 委託料減

▲220.4万円 ▲160万円

**諸橋議員** 減額の金額が大きいが、対象者が少なかったのか。

**保健福祉課長** 対象者全員に受けて欲しいと予算措置をしたが、2月末で接種率64%であったため減額した。

**こども未来室長** 2年度の出生数は9名であり、予想を下回った事で減額となった。

## 農業用ため池 ハザードマップ 作成業務委託料減

▲320万円

**三輪議員** 減額の理由と町民への周知はどうか。

**産業観光課長** 期限付きで全額国費負担だったが、国に申請が集中し、2年度はできない事になった。3年度に申請をし直す。作成当初から住民のご意見を聞いており、完成したら配布する。



石畑のため池

## 通級教室教材備品

2.4万円

**高桑議員** 3年度に通級学級が開設され、対応の幅が拡がり、ありがたい。教材備品の金額が少ないがどのようなものを揃えたか。

**教育課長** 先進の学校を視察し、バランスボール・トランポリンや漢字教材等を揃え、

今後必要に応じて買い足す予定である。

## 町民野球場トイレ 改修工事

69.3万円

**中川議員** 補正予算でシーズン前に改修するのは大変良い。天領の里の和式トイレ改修も、人の少ないシーズン前にすべきではないか。

**副町長** 野球場トイレは状態をみて、早急にすべきと判断した。天領の里トイレ自体はきれいに管理されており、工事が大きなものになるため、当初予算で対応したい。



改修後のトイレ

## 高校生通学費助成金減

▲60万円

**高桑議員** 減額の理由は何か。対象の方は全て補助を受けているか。

**教育課長** コロナで高校が休校となったため、定期券を払

い戻される方が多かったです。この制度は周知されており、受け給もれないと思われる。

## 保健福祉総合センター 指定管理料減

▲273.4万円

**高橋議員** 大幅な指定管理料の減額理由は何か。

**保健福祉課長** お風呂の休館による燃料・光熱費の減、消費税の減、さらに電力会社の変更に伴い、電気料が安くなったこと等による。

## 良寛記念館入館料減

▲250万円

**高橋議員** 今年の入館者数は何人か。

**教育課長** 春先の休館が響いて入館者数が戻らず、4000人程度となった。

## 個別合併処理浄化槽 使用料追加

▲250万円

**小黒議員** 現在、合併浄化槽は何基あるか。

**建設課長** 料金計算上は138基である。

# 全員協議会

主なものから

抜粋して掲載しています

## 第1回 1月13日(水)

### 新型コロナウイルス感染症に関する町の対応について

**加藤議員** 不安解消のためのPCR検査の実施状況はどうか。

**保健福祉課長** 広報いずもざき等でお知らせしているが、今のところ申請はない。

**三輪議員** 顔認証検温器の導入はどうか。

**総務課長** 入札が終わり、遅くとも2月には各施設に入る予定である。

### 令和3年1月7日の暴風雪による被害状況について

**総務課長** 非住家が5棟、住家で3棟、外壁・屋根等の一部損壊があった。良寛記念館展示棟の屋根が破損した。

**小黒議員** 避難所について、停電の復旧が21時40分頃だが、21



暴風で剥がれた良寛記念館の屋根

時に閉鎖している。復旧前の閉鎖理由は何か。

**総務課長** 東北電力の状況報告で、全戸復旧の目途が立った段階で、21時を過ぎる避難所へ移動はないと判断した。

**高桑議員** インフラの停止があった場合、防災行政無線で確定情報だけでなく、進捗状況が分かるかと安心できる。もっと防災行政無線を活用するべき。

**総務課長** 防災行政無線のアンテナについては、多方面で検証中である。

**中川議員** 通学バスが雪の影響で遅れ、子どもたちは長時間バ

ス停で待っていた。早く対応できなかったのか。

**教育課長** 今回は情報共有がうまくできなかった。対応については十分反省したい。

## 第2回 2月17日(水)

### マンホールカード作成について

**小黒議員** 下水道未接続の方にPRするため、また、来町者へのPRのためにも、マンホールカードを作成するべきではないか。



マンホールカード

**建設課長** 現在、おけさと獅子舞の2種類があるが、この内1つの作成許可申請をしたい。

### 新型コロナウイルス感染症に関わる町の対応について

**高橋議員** 持ち帰り等利用促進支援事業を、今一度行うべきではないか。

**産業観光課長** 疲弊していた町内の飲食店に支援ができたと思っている。今後については、第2弾ではなく、コロナ対策に取り組む事業者に対して支援していく考えである。

### 新型コロナウイルスワクチンの接種体制について

**保健福祉課長** 町内での集団接種をメインに実施し、佐藤医院・磯部医院での個別接種によりカバーする。接種会場はふれあいの里で、基本的に週1回の平日とし、接種間隔により土曜日等も実施する。

**高桑・三輪議員** 看護師が接種を行うとの事だが、細かい体制と人員確保はどうなるか。接種率の見込みはどうか。

**保健福祉課長** 問診は佐藤先生・磯部先生とし、6人体制で進め、1日あたり340人程度の接種が可能になる。

接種に関しては努力義務で、強制ではないため、受けるかどうかは個人の判断になる。

### 旧富岡臨海学校施設の売却契約の締結について

**総務課長** 相手方は本町の株式会社山六木材。旧臨海学校施設を拠点に、地元産の食材を用いた食事の提供、特産物の開発や販売、カフェ等を事業展開し、子育て世代や高齢者が立ち寄りやすい場を創出することで、地域の活性化に繋がっていく。



旧富岡臨海学校



## 松本みなみ・ひがし団地による行政区の新設について

**総務課長** 松本行政区として運営されてきたが、団地居住者へのアンケートを実施し、話し合いをした結果、4月1日から新しい行政区となる見込みである。

## 出雲崎駅の無人化対応について

**三輪議員** 残念ながら3月13日から無人化になる。いかに利用者の不便を少なくできるか、考えるべきではないか。

**総務課長** 定期等については、最寄りの大きな駅で購入することになる。柏崎駅と相互交通で



窓口のシャッターが降りたままの出雲崎駅

きるテレホンスピーカーや運行状況アプリ等をご利用いただきたい。陽だまりとの連携については、今後状況を見て考えていきたい。

## 第3回 3月12日(金)

## 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種スケジュールについて

**保健福祉課長** スケジュールの概要を説明する。

- ・高齢者施設について
- ・4月上旬～5月中旬全10回
- ・やすらぎの里で嘱託医による接種を実施の予定。
- ・集団接種について
- ・5月中旬～9月中旬全18回
- ・4月7日に模擬訓練を実施。
- ・アナフィラキシー等重篤な副反応発生時は、長岡市内総合病院に搬送予定。
- ・65歳以上の高齢者にワクチン接種希望調査と併せて、送迎バス利用調査を実施。
- ・民生委員が75歳以上の高齢者について、調査票の記入や集

団接種の説明に訪問する。4月1日から役場にコールセンターを開設する予定。

**加藤議員** アナフィラキシーショック等重篤な副反応発生時の対応は万全か。

**保健福祉課長** 模擬訓練の際、従事者による、緊急対応訓練を実施する。

## 出雲崎町国土強靱化地域計画策定について

**総務課長** 当町において、自然災害に対する脆弱性を見つめ直し、今後想定される大規模災害から町民の生命・財産を守り、国土強靱化に係る施策を推進するため、「出雲崎町国土強靱化地域計画」を5年計画で策定する。

**高橋議員** 脆弱性について、過去の災害時より、近年の降雨量は大きくなってきているが、危機感が薄い。こうした計画は、まとめるだけでなく、町民に理解されなければ意味がないと感じる。

**総務課長** 本町は豪雨災害に弱く、それらの特性を踏まえて国・県事業を適切に行っていたり、周知し

庁内連携を取りながら、周知していきたい。

## 令和3年度出雲崎町小中学校生徒数及び学級数の一覧について

学校名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援クラス		合計
								知的	情緒	
出雲崎小学校	児童数	26	23	30	19	31	25	(12)	(9)	154 (21)
	クラス数	1	1	1	1	1	1	2	2	10
出雲崎中学校	生徒数	21	29	29				(9)	(2)	79 (11)
	クラス数	1	1	1				2	1	6

合計の数値は、特別支援学級在籍児童（ ）内を含む

## 議会のつぎぎ(主なもの)

令和3年1月～3月

- 12 議会サロン(妻入り会館) 議会報特別委員会 (議会だより第110号)
- 13 第1回全員協議会 (詳細はp10)
- 21 第1回タブレット操作研修会 (詳細はp19)
- 23 議会サロン(陽だまり) 議会運営委員会 (詳細はp19)
- 27 第2回タブレット操作研修会 議員の質疑に関する研修会 (詳細はp19)
- 15 社会産業常任委員会 (詳細はp18)
- 17 第2回全員協議会 (詳細はp10)
- 18 定期総会・議長会議(新潟市) 議会運営委員会
- 26 議会サロン(陽だまり) 3月定例会招集日 (詳細はp8～9)
- 3 議会報特別委員会 (議会だより第111号) 社会産業常任委員会 総務文教常任委員会 3月定例会2日目 (一般質問)
- 8 予算審査特別委員会 議会運営委員会 3月定例会最終日 (詳細はp12～17)
- 9 第3回全員協議会 (詳細はp11)
- 19 第1回町議会リモート会議 議会報特別委員会 (議会だより第111号) 議会サロン(陽だまり)
- 25 議会報特別委員会 (議会だより第111号)
- 27 議会サロン(陽だまり)

1

加藤修三 議員



## 質問項目

1. 東京電力柏崎刈羽原子力発電所のずさんな管理体制と大雪時の避難方法

🔍 詳細は13ページ

2

高橋速円 議員



## 質問項目

1. 新型コロナウイルス禍の中、町民の声をどう聞か。リモート形式で町民の声を聞けないか。

🔍 詳細は14ページ

3

小黒博泰 議員



## 質問項目

1. 今後の農業について

🔍 詳細は15ページ



# 一般質問 ～町政を問う～

4

三輪 正 議員



## 質問項目

1. 地域プロジェクトマネージャー導入で町の活性化を
2. 消防団の再編はなぜ出来ないのか

🔍 詳細は16ページ

5

高桑佳子 議員



## 質問項目

1. 生活を守り、地域の力を高めるための方策を

🔍 詳細は17ページ

# ずさんな管理体制が止まらない 東京電力柏崎刈羽原子力発電所に 隣接する当町の対応



加藤 修三 議員

町長

## 看過できない!!

今後、東京電力の成り行きをしっかりと見届け  
注視していく

### 東京電力柏崎刈羽原発の ずさん管理

加藤 東京電力柏崎刈羽

発電所ではトラブルが絶えず、昨年原子力発電所の心臓部である中央制御室への不正入室や安全対策工事虚偽報告などルール無視の何でもありの東京電力柏崎刈羽原子力発電所に隣接する当町はこれらの問題をどのように考えているか伺う。

### 一連の問題について、 看過できない

町長 東京電力柏崎刈羽原発所において、やっつてはならないIDカードの不正利用、あるいは工事未完了事業が摘発をされており、本当に私は残念でならない。東京電力は全力を挙げて、住民各位の信頼を勝ち取り得るかどうかが、本当に大きな課題を背負っており、今後の東京電力の成り行き、次なるステップをどのよう

なことで考え、やっておられるのか、しっかりと見届け、注視をしながら対応していきたいと考えている。

### 各省庁幹部が来県し、 面談で何を訴えたか

加藤 東京電力柏崎刈羽

発電所をめぐり昨年1年間に経済産業省や資源エネルギー庁の幹部や職員が来県し、知事、県議、自治体関係者と面談しているが、町長は面談されているか。そして何を訴えたか伺う。

### 住民の命と安全、安心 を守る責務がある

町長 東京電力の幹部、

資源エネルギー庁の幹部の皆さんが度々当町に訪問され、一連の事故、問題発生時の対応、おわびを兼ねて来ている。町は単に話を聞くということではなく、社員に対する教育、いかに緊張感を保って、いざ稼働と

なったときに万全の体制を整えようと、これが一番大事だとはつきり申し上げ、我が町としての姿勢をしっかりと伝えた。

### ふれあいの里となりになる東京電力の災害対策拠点の管理体制見直しと大雪時の対応

加藤 東京電力のずさんな管理体制、今回のような大雪時、当町にある東京電力柏崎刈羽原子力発電所出雲崎災害対策支援拠点の管理体制と大雪時の搬入搬出経路確保の見直しが必要と考えるが、考えを伺う。

### 非常事態に備えての万 全なる体制を指せるか 改めて東京電力に申し 上げたい

町長 今回の大雪時拠点

施設の除雪をしたかと聞いたら、除雪はしなかったという。これらも大きな反省点だと思う。そういう意味

合いにおいて、もう少し拠点施設としての活用や責任者をどうするのか、大雪時の対応など、思わぬ事態を想定しながら綿密なる計画を立てるといのが生きた計画であり、実際に生かしていかなければならない。改めて東京電力にこの拠点施設の運用なり内容の充実を求めている。



東京電力はいかに信頼を取り戻せるか

提供：東京電力ホールディングス

# 新型コロナウイルス禍の中、 町民の肉声をどう聞くのか？



高橋 速円 議員

町長

## 意欲満々、夏までにやる

どう実施するのか？  
それとも

アンケートなのか？

高橋 一昨年12月定例会で質問した際、妊婦さんや子育て中の皆さんと対話すると答弁された。実際どういう形で町民の肉声を聞くのか。

感染症対策をしつかりして人数制限するのか。それとも間接的にアンケートで済みますのか。

いま話題のリモート形式を取り入れる形もある。如何か。

直に声を聞く

町長 積極果敢に取り組みたい。リモートは無味乾燥だ。安全を確保して町民の皆さんと膝を突き合わせてお話を聞きたい。意欲満々、ご質問には答えていきたい。

夏までか？

高橋 時間はすぐに経つ。夏前までに形を出していただきたいが、如何か。

町長 新年度は態勢を強化してステップ・バイ・ステップ、しつかり進めたい。

やる気はわかった、

どうやるのか？

高橋 過疎ということ人がいないこと。人材が不足していることだ。限られた人材をうまく活躍していただけるような方策が要る。どうするのか。

原点に立ち返る！

町長 良き歴史、伝統などを見直して連帯感、助け合いの精神を培っていく。経験者から頑張ってもらいたい。

役場職員の各集落での協業は可能ではないか？

高橋 やる気はわかったが、少子高齢化で人材は限られている。しかも海岸地区と駅前地区等とは地域の構造が違う。行政上のロスが生じやすい。役場職員を地域担当制として張り付かせ、住民と馴染んでいけるか。また、協業でやれないか。

大賛成だ！

町長 行政と地域が一体化すると相乗効果が期待できる。

五年後の出雲崎を  
どう想定するか

高橋 五年後どんな町になつていくのだろうか、町民の中に将来を心配する声をよく聞く。  
素朴なこの呟きを町長はどう受け止めるか。

喜んでいただける町を  
つくる

町長 人口減は受け止めるなければならない。減った中で町民の皆さんが本当に満足いただける町であるかどうか。これが勝負だ。そこにお住いの皆さんが喜んでもらえる町をつくる、是非そうしたい。

高橋 町長の意欲はよくわかった。8月までにやるかと答弁された。早急に現実化していただきたい。





小黒 博泰 議員

# 今後の農業について

町長

## 後継者不足が深刻な課題

当町の農業の現状を  
どう考えているか

**小黒** 平成30年、50年近くにわたり実施されていた減反政策も廃止となり、令和2年度は米価も相対取引価格で673円下がっている。人口減少・米離れに加え、新型ウイルス禍による影響も相まって、大幅に需要が下がり、超過在庫が深刻な問題となっている。従事者の高齢化、後継者不足である農業の現状をどう理解し、考えているか伺う。

### 後継者不足が深刻な課題

**町長** 当町の経営農家数は約196経営体ある。60歳以上の高齢者が多く、後継者不足は深刻で、優良農地等を若手世代にどう引き継ぐかが課題になっている。また、受け手の方は耕作地の条件等で大変苦労している事も問題で、農地を集約し、できる限りコストを下げて、少しでも利益を上げてもらうことが、喫緊の課題と考える。

今後の農業の進め方を  
どう考えているか

**小黒** 当町は他の作物を作るのは難しい、量より質消費者に好まれる米を生産するべきとの答弁があった。現状を踏まえ、今後の稲作農業の進め方をどのように考えているか伺う。

### 将来的には厳しい 前途が待ち受けている

**町長** 今の現状から考え、将来的には非常に厳しい前途が待ち受けていることは事実である。意欲ある農家の皆さんの意見を聴取しながら、究極は町が農業を守る方針でいかないと駄目だと思う。



稲刈り風景

町として農業法人を  
設立する考えは

**小黒** 集落営農や法人組織を作り経営改善を働きかけても、高齢化、後継者不足で先頭に立ってやる方がいないと思う。個人で法人を設立するには、設備投資や収入などの多くのリスクがある。町として農業法人を設立し、町の農業、農地を守る必要があると考えるが、町長の考えを伺う。

### 農業に意欲的な方の 意見調整をしないと駄目

**町長** 町の約380ヘクタールの耕地は、それなりに守れて、農業を意欲的に進めていただいている過程の中で、今後の農業経営の考えを聞き、進めていく事が大事。また、新規の農業に従事されている方々もあると思うので、意見調整をしながらバランスよく今後のあり方を検討していくべきである。一気呵成に町が方針を出せないし、そのような状況ではない。本当に

いろいろな意味で行き詰まり、耕地を守り切れない事になれば、町としてしっかりと対応すべきだと考える。



美味しいお米

**小黒** 行政で農地を守れと言っているからには、最終的に町が責任を持って農地を守るのは当然だと思う。今から農業法人組織などの準備を進める必要があると考える。

宮崎県の日之影町は、平成28年に町長が社長で農業法人「ひのかげアグリファーム」を設立し、福井県の若狭町は、地元企業と共同出資して「かみなか農楽舎」法人を設立している。全国で、農地や農業者の所得を上げようと、いろいろな方法で法人化に取り組んでいる所があるので、その辺も考慮して、これからの出雲崎の農業を守り、農業の安定収入が得られる方策を作っていただきたい。

# 地域プロジェクトマネージャー導入で町の活性化を



三輪 正 議員

町長

## 制度は非常に良い。 重要な事業を決めて活用

移住、空き家活用、  
関係人口増加など

三輪 当町は他市長村から注目される各種の人口減少対策を実施している。更に効果をあげるために最近、総務省が発表した新制度「地域プロジェクトマネージャー」（地域づくりの実績のあるコンサルタント、地域おこし隊員経験者等を市町村に派遣。人件費は国が支援する）を活用して移住、空き家、関係人口の増加など人口減少対策を強力に実施すべきと考えるが、町の方針を伺う。

プロジェクトの

橋渡し役を

町長 制度は非常に良い。町として重要な事業の橋渡し役として考えたい。

栗島浦村で専門家採用し、  
魚の加工、販売促進

三輪 栗島浦村では商社勤務経験者を「魚の加工、販売」担当者として採用、効果をあげている。また企業版ふるさと納税で人材派遣型もある。町長のトップセールスにより、企業から地域活性化のために人材派遣を要望すべきと考えるが。

企業訪問し、

人材紹介もお願いする

町長 企業はいろいろな能力、経験を持つ人材がいる。

新年度からコロナ後に企業訪問し、町の存在価値を高めるため協力をお願いする。

# 消防団の再編は なぜ出来ないのか

町長

## 令和4年度に 再編を実施する



放水訓練に励む消防団員

2年間、検討した結果は

三輪 今まで数回、消防団の再編について一般質問し、八手地区長会からも要望が提出されている。特に平成31年度3月議会、一般質問では、再編については団幹部と町で充分検討する旨の答弁がありました。あれから2年が経過しましたが、具体的な話はありません。特定の地区に負担を強いることは問題である。町の方針を伺う。

消防ポンプは維持し、

第3第4分団で再編

町長 消防団は定員170名で内、特別団員6人、欠員9人。アンケート調査をもとに、幹部中心に検討。

消防ポンプ車は現状台数、第3と第4分団で調整。令和4年4月より再編する。昨年女性団員が3人加入した。



高桑 佳子 議員

# 地域力を高めるために 集落支援員の活用を

町長

## 本来の姿に立ち返って 集落の活性化を目指す

高桑

出雲崎町の現在の人口は、平成28年に示された目標数値の上方であるが、2年度の出生数は10人に届かなかった。働く世代の減少や高齢化による困り事が増え、地域集落の課題は多方面で膨らんできている。

コロナウイルス感染症の影響も相まって、地域の活動は減少してきており、将来への不安や危機感を持ちながらも、住民同士の具体的な話し合いはなかなか進まないと感じる。

今まで地域社会を牽引してきた団塊の世代は後期高齢者になれる。これから先を見据えて、地域集落の機能を維持させるため、計画的に強い施策をとるべきと考える。

### 生活扶助機能を 維持するための施策は

高桑

地域集落の生活扶助機能が希薄になっている。お互い様、助け合いの精神が、地域の共助をささえて

きたが、人口減少と高齢化は共助の限界に近づいている。行政としてどのような方策を考えているか。

町長

本町は一人暮らしの高齢者、また高齢者のみの世帯数が急増している。平成30年から「生活支援体制事業」をスタートさせている。助け合いの意識を高め、支え合いの和を広げるサロンや茶の間が効果を上げている。

令和3年度は有償ボランティアサービスを提供する「たすけ愛隊」を立ち上げ、10月スタートを目指す。

高桑

集落ごとNPOに加入して、任せているところもあるが、NPO自体も平均年齢70歳を超えてきている。

デリケートな問題だが、複数の集落でできることは合同でやっていく等を、考えていくべきではないか。

町長

NPOにも活躍してもらっており、後を継ぐ

人も必ずや出てくる。町も体制確保に努力する。

集落では、高齢でも経験のある方がリーダー役として、共同意識を醸成する努力をやっていたきたい。

国の多面的機能支払交付金事業では、集落をまたいでの活動を展開しており、その中で共同扶助の気持ちが生まれ、発展していくことを期待し、支援していく。



複数集落で共同の草刈  
(多面的機能支払交付金事業)

### 集落支援員を配置して 活性化を図るべき

高桑

多面的機能もサロン等も、周知され、大変良い活動をしている。しかし、

農業あるいは高齢者福祉の分野を超えて共同でやるという意識の醸成までではないのではないか。

区長・民生委員の方々が頑張っていたりしているが、踏み込むのに限界がある。地域おこし協力隊と同様の総務省の制度に、「集落支援員」がある。

これは、地域の実情に詳しく、知見を有した人材が、自治体の委嘱を受け、行政と連携しながら地域の困りごとなどの解消や活性化を目指すもので、町内の雇用を生む事にもなる。県内でも多くの自治体が入り入れて成果を上げており、町も導入すべきと考える。

町長

区長、民生委員の方々にお願するのが本来の姿であり、集落に支援員を派遣するのは難しい。支援員を入れることで、逆に機能しなくなるのでは困る。集落に必ずや適任者はいらぬと思うので、旗振りをしてもらい、集落を盛り上げてもらいたい。



# 委員会 視察・調査報告

2/15

## 社会産業常任委員会

### 町役場議員控室



委員（5名）全員で町役場議員控室において、大矢産業観光課長の出席を得て、当町の「農業の現状と今後の方向について」質問ごとに現状と町等の対応について説明がありました。

出雲崎農業の課題について各種事業によって、基幹産業の発展が望まれる。

#### ① 主な質問と説明について

① 新ブランド米「出雲崎の輝き」の初年度実績と今後の方向について

75a 2軒で58・5俵。

令和3年は170a

4軒で目標136俵

② 「ふるさと納税」の返礼品（農産物・米）の利用について

出雲崎コシヒカリが全体の約半分、他に良寛牛乳セット、釜谷の梅酒、いちご畑のジェラートが利用された。

③ 農業の担い手の現状と対策および、JA、認定農業者の連携について

61〜75歳未満が主力で、年々離農が増えている。JA等と連携して対応している。④ ほ場整備事業の現状と今後について

当町のほ場整備率は八手地区ほ場整備約30haを入

⑤ 国、県の各種補助事業等について  
「多面的機能支払交付金事業」は令和2年度19組織（23集落）対象面積271ha、構成員568人、交付額1985万円。令和3年から常楽寺・別ヶ谷が追加予定。「人・農地プラン」は各集落で今後の耕作について話し合いを実施する。

委員より農業の将来について、特に担い手の確保については町が主体となってJAとの連携協力、ほ場整備事業の推進などを求める意見がありました。

委員会としては町の主要産業である農業の振興を今後も強く要望してまいります。

社会産業常任委員長

三輪 正

## 令和2年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
仙海 直樹	60,000	0	30,000	35,052	3,670	68,722	0
高桑 佳子	60,000	0	10,204	46,852	3,970	61,026	0
小黑 博泰	60,000	0	0	18,372	3,970	22,342	37,658
中川 正弘	60,000	0	0	46,380	2,970	49,350	10,650
中野 勝正	60,000	0	0	18,372	10,364	28,736	31,264
高橋 速円	60,000	0	0	48,000	3,970	51,970	8,030
諸橋 和史	60,000	0	0	42,024	4,670	46,694	13,306
加藤 修三	60,000	0	0	31,368	5,940	37,308	22,692
三輪 正	60,000	0	0	53,052	2,970	56,022	3,978
安達 一雄	60,000	0	0	18,372	4,670	23,042	36,958

月額5,000円×令和2年度活動月数（12カ月）で交付



## 自治功労者表彰



このたび、仙海議長が全国町村議会議長会より、自治功労者表彰を受け、3月定例会において伝達式を行いました。町議会議長として議会運営及び地域の振興発展において特に功績があった方に贈られるものです。

このたびの受賞にあたり日頃より議会運営にご協力をいただいている議員各位、並びにご指導をいただいている町民各位に改めて感謝と御礼を申し上げます。

引き続き町の発展と住みごごちの良い町づくりのために全力で頑張ってまいります。今後ともご指導よろしくお願いたします。

仙海 直樹

## 「議員研修会を開催」



1月19日(木)、2月10日(水)にタブレット操作研修会を開催しました。

基本操作やグループウェア（情報共有ソフト）の操作、Zoom（オンライン会議ツール）を活用したリモート会議の操作を習いました。タブレットは、リモートによる委員会の開催や緊急時の情報発信を目的に活用していきます。

また、2月10日(水)には、新潟県町村議会議長会の五十君事務局長代行を講師にお招きし、議員の質疑に関する研修会を開催しました。令和3年3月定例会より、議会中継を開始することに伴い、発言や質疑の方法について改めて確認をしました。



「毎月リモート会議を開催(3月19日)」

## 「議会の様子をYouTubeで配信しています」

出雲崎町議会では、令和3年3月定例会より、本会議の録画映像を配信しています。

町議会ホームページ上の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。

町議会ホームページ



**出** 雲崎町に移住してか  
ら早いもので12年。

その間に家族も増え、心境と暮らしにも変化がありました。

早朝から夜遅くまで長岡市の会社に勤務し、平日はほぼ寝に帰るだけの日々。

「せっかく良い環境に住んでいるのに子育ても暮らしも楽しまなくちゃもつたないなあ」という気持ちが沸き上がってきました。

現在は町内で小さな木工所を営みながら、子育ても楽しんでいきます。

自分に合った仕事と暮らしのバランスを整えることができたのは、きつと出雲崎町に移住したからだなと感じています。

様々なご縁に感謝しながら、これからも出雲崎での暮らしを楽しんでいきたいと思えます。



## みんなの声

### わたしなりの ライフワークバランス

てまり団地

わだ よしひと  
和田 典士 さん



## 表紙の小話

### つるし雛

今年も妻入り会館には、春の訪れを告げるつるし雛が飾られました。

お正月から繭玉、天神様、そしてつるし雛と、出雲崎の厳しい冬の中間、あたたかい彩りを添えてくれています。

今年のおつるし雛もまた素晴らしく、大勢のファンの方が足を運んでいました。私は、通し土間の展示にも目を奪われました。見事な色艶のべつ甲髪飾りや櫛、古い時代の穏やかなお顔の享保雛、時間を忘れてながめていられます。

コロナの終息が見込めずに不安の多い時代です。しかし、古くから変わらぬにある、優しく美しく穏やかなもの、その空間にいと、不思議と心が落ち着いて清んでいく気がしました。

(高桑佳子)

## 編集後記

3月定例会が閉会し、議会改選前の定例会がすべて終了しました。議会だよりも、今のメンバーで発行するのは、この11号が最後となります。今年度は、全国の町村で発行される議会だよりのクリニックに、新潟代表として参加し、様々な視点から改善点の指摘があり、励みになるお褒めの言葉もいただきました。また、日頃より、議会モニターの皆様をはじめ、たくさんの方々からお声を頂戴し、ありがとうございました。

皆様のご意見を踏まえ、6月からは新体制で、より分かりやすく議会活動をお知らせできるよう、さらに努めてまいります。

大変ありがとうございました。これからも、議会だよりをよろしくお願ひいたします。

(高桑佳子)



議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 安達一雄
- 委員 中野勝正
- 委員 三輪正
- 委員 小黒博泰

議会だより発行予定 発行は年4回。発行日は4月23日・7月25日・10月23日・1月22日です。 議会の傍聴にぜひおいでください。